

クリスマスと正月

あかたにけいこ
赤谷慶子

近年キリスト教には非ずとも、クリスマスは世界中において一大イベントと化し「お祝ひ」する風習になりたり。長きクリスマス休暇は家族と楽しむにあり、歐米に於ては商店街もビジネス街も閑散とし、日本の正月休みの如き様相を呈す。その昔、日本にてクリスマスはどんちゃん騒ぎをし、家庭の「お父さん」と稱する男性はいかなる譯かは不明なれど、ショートケーキ所謂クリスマスケーキを買ひて帰宅す。歐米のクリスマスは家族と共に祝ふものにて、イブにターキーを焼き、豪勢なる夕食をし、教會の夜中のミサにて祈り、その後クリスマスツリーの下に置きてあるプレゼントを開く。パリ在住のころ、ノートルダム寺院の前に設置せられし等身大の「キリストの降誕場面」に見入りしものなり。ミサも通常より豪華なるマントを羽織れる神父たち祈りを捧げ、コワイヤーもパイプオルガンと共に一段と大きな聲にて讚美歌を歌ひたりき。グロリア・インエクセルシスデーオー！

我家は親戚一同カトリック教徒なり。その季節到来すれば、クリスマスツリーと教會のミサは日本にても闕かすべからざる風物なり。日本式家屋なる應接間にはマントルピースあり、脇に大きなツリー持ち込まれ、兄弟姉妹の多き従姉たちと飾り付けするを楽しみにしたりき。いづこよりか天井に届く巨大なる杉の木を調達するを得たりし、魔訶不可思議なる思ひなりき。歐米にてはツリー専用の屋外の店に買ひに行くを常とす。米國の首都ワシントンはこの季節結構降雪あり、ホワイトクリスマス多かりき記憶あり。

海外にては正月休みは一日のみにて、殆どは二日より始動す。日本は逆にクリスマスは通常の日といささかも變はらず二十五日も休日ならず。その代はり、正月は長き休暇となり、首都圏以外に故郷のある國民の歸省の大移動となりたる。かつては店舗など全て休みになりたれば、お節等日持ちのする料理を作る主婦たちは大騒動なりき。最近はそのお節も料理屋提供する重箱大勢を占めたりて、家庭にて作るは減りつつあるが如し。デパートなども一日より營業する店舗増え、日持ちのする料理も不要となりたり。さはさりながら、正月は日本においては一大イベントなり。

(令和元年十二月三十日受附)